

**（件名） イベント「うまいっしょ！北海道2019」の実施について****（1） イベントについて**

10月28日、北海道文化放送（UHB）と在ロシア日本国大使館の共催による北海道の観光と食をロシアの方々に知ってもらうためのイベント「うまいっしょ！北海道2019」が、在ロシア日本国大使館ホール（於：モスクワ）で開催され、当事務所も北海道のPRを行ったので報告します。

このイベントは、総務省の「放送コンテンツ海外展開強化事業」を活用して、北海道の観光と食をロシアの方々に知ってもらうことを目的に開催された事業で、来年からの日露地域交流年のプレイベントにも位置づけられています。当日は、ロシアの報道機関や政府関係者、人気ユーチューバーなどのインフルエンサーらが招待され、北海道の郷土料理や北海道産米を使ったおにぎり、お餅等がふるまわれました。

（2） イベント内容について

イベントは18時に始まり、最初に上月・駐ロシア日本国大使、UHBの浜田常務が挨拶したほか、小職から北海道知事メッセージを代読しました。その後、日本政府観光局による北海道の観光・旅行に関するプレゼンテーションが行われ、北海道の広大な自然（富良野のラベンダー畑等）が会場のモニター画面いっぱいに映し出されると、参加者は食い入るように画面を見つめていました。

また、メイン行事では、ライスボールプレーヤーとして札幌市で活躍する川原悟さん（札幌観光大使）によるおにぎりの説明と調理実演、参加者を交えた餅つき体験などが行われました。おにぎりの実演が始まると、それまで着席していた参加者は全員ステージ周辺に集まり、川原さんが素早く作る形の整ったおにぎりに感心し、身を乗り出して見つめていました。

その後、参加者には川原さんが握ったおにぎりやその場でついた餅、石狩鍋・ジンギスカンなどの郷土料理、道産米で作られた日本酒が振舞われました。参加者からは「おにぎりがこんなにおいしいとは思わなかった」といった声や「つくたてのお餅はとても柔らかくて美味しい」、「ジンギスカンを食べに北海道に行きたい」、「遠いけれども是非とも北海道に足を運びたい」といった声が聞かれました。

（3） 当イベントにおける事務所の取組について

当事務所では、イベントに参加した現地の報道関係者らに対し、北海道のパフレットやポスターを用い、特にロシアの方々に人気のある温泉やラベンダー畑などの北海道の観光地、夕張メロンなどの特産品、ジンギスカンや豚丼といった郷土料理について紹介し、北海道に関心を持ってもらうためのPRを行いました。

今回モスクワを訪問した際、モスクワ在住のロシア人の方々と話す機会が何度かありましたが、彼らは必ず「どこから来たのか」と訊ねてくるので、「北海道から来た」と答えると、「北海道は日本のどこに位置しているのか」と聞き返されることが多く、サハリンでの北海道の認知度に比べ、モスクワでの認知度が低いことを改めて実感しました。その場で、写真を見せ、北海道について説明すると「日本にこんな素晴らしいところがあったとは」、「必ず行ってみる」といった声が聞かれました。

今回のイベントでは北海道についてロシアの方々に関心を持ってもらうきっかけとなりました。今後もイベントや事業を通し、北海道の魅力を知ってもらうため、引き続き取り組んでいきます。



郷土料理の披露の様子1



郷土料理の披露の様子2



札幌観光大使の川原氏